



第52回肢体不自由教育実践研究協議会(筑波大学附属桐が丘特別支援学校主催)

「子供が学ぶ」を追究する

—共生社会の担い手を育むために—

▶期日:令和6年2月2日(金), 2月3日(土)

▶開催方法:オンライン会議システム(Zoom)

—協議会テーマについて—

当校では、これまで「子供の可能性が広がる学び」(R3年度)、「社会の中で生きる力を育む教科指導」(R4年度)をテーマに研究協議会を開催してきました。協議会を通して、社会の中で子供が自らの力を発揮し、他者とともに豊かな人生や社会を築いていくための教科指導の在り方について、参加者のみなさまと考えてきました。その中で、共生社会の担い手として、子供たちが自らの力を発揮していくためには、「教師が何を教えるのかではなく、子供が何を学ぶのか」を追究することの重要性が改めて見えてきました。

今年度の協議会では、障害の重い子供たちの学びを例に、「子供が学ぶ」とはどのようなことかについて、ともに考えていきましょう。



—協議会の内容—

【1日目】

- ・肢体不自由教育の動向に関する講演
- ・自立活動に関する基礎的な講座

【2日目】

- ・障害の重い子供を対象とした教科の授業提案、協議

▶参加費

1日参加3,000円 両日参加5,000円
(学生 2,500円 ※参加日数問わず)

▶本件問い合わせ先

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

Tel:03-3958-0181

Mail:kyougikai@kiri-s.tsukuba.ac.jp

※二次案内は11月頃にお届けいたします。

申し込み開始は12月中旬頃を予定しております。